

エコニュース さって



第 39 号

平成 23 年 8 月 25 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

菜の花だより

環境学習 **みんなの力でなたね油を！** 幸手小学校 5 年生 6 月 2 1 日

6 月 2 1 日午前 (9 : 30 ~ 11 : 15)、幸手小体育館で 5 年生 2 クラス (計 6 0 名の児童) を対象に環境学習を行いました。

菜種の種まき、菜の花の育成、菜種の刈取り、種の搾油そして菜種油を使っでの調理、菜種油の B D F 利用等一連の作業や内容を紙芝居と写真を通じて教え、食べ物はどうしたら得ることが出来るかを知ってもらいました。また、既に刈取られ乾燥している菜の花を大きく広げられたビニールシート上に積み上げ足で踏んで種を脱穀し、脱穀した種を唐箕(トミー)に入れゴミと種を分けました。これは手回しのハンドルを回し、風力で種(重い)とゴミ(軽い)を分けるもので、子供達には人気の作業です。歓声を上げながら順番待ちする状況で、慣れるに従い上手に分離が出来るようになりました。また今年は、菜の花の茎 1 本にどれぐらいの種がついているか、3 人一組で数えることをしました。茎によって違いがありますが、1,000 ~ 2,000 個の種です。児童たちからは、大変勉強になったと評価を得て、最後に学習の記念にサンプル袋一杯の菜種を手渡して終了としました。

本活動は昨年につき 2 回目で、我々スタッフはある程度全体的流れが想定出来ましたが、個々の作業については事前準備不足や連絡不徹底などの反省点も見られましたので、来年以降の改善に繋がりたいと考えました。

なお、今回も「すこやか「食」の会」の皆さんにお手伝いいただき大変お世話になりました。

今年の収穫は 26kg

刈り取ったなたねの脱穀・選別を行い、ナタネ 26kg を得ました。昨年と違って、”穂を摘む”方式だったので、土や小石がなどの混じりが少なくきれいな種を収穫できました。近々搾油をする予定です。

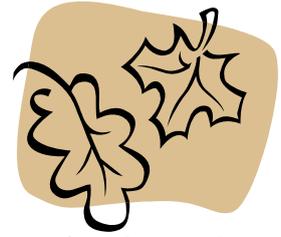
福島では土壌の除染に

福島では原発の被害を緩和しようと、土壌の放射能の除染に効果がある菜の花を植える運動が始まっています。(福島市の N P O 花見山を守る会) 私たちのナタネも役立ててもらおうと提供しました。
(中山)

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、幸ネット(子育て支援ネットワーク)、いきがい・はなみずきの会

第71回腐葉土づくりの会

第2回目のジャガイモ収穫を行いました！
平成23年度総会を行いました！



7月17日(日)、25名が参集し35℃以上の猛暑が連日続くので、早朝、8時から第2回目のジャガイモ収穫を行いました。今年は、梅雨明け前の大雨もなく、平年の1週間以上も早く、梅雨が明けてしまいました。熱中症に罹っては大変なので各自に、飲み物を持参頂き、事務局もスポーツドリンク2L×2本準備して、全員の参集を待たず、畑に来たした人から次々にジャガイモ掘りを始めました。ここ5日間、猛暑で全く雨がなく、畑もカラカラで地表も固く、スコップで掘り出しながら収穫していきました。今回はキタアカリだけでしたが、昨年と比較して大きさ、量ともに違い大収穫(10kg/人位?)で参加者全員に頒布(100円/袋)し、お祭りや仕事の都合で欠席した人にも頒布しました。全員で合同作業したため、全ての作業が予定通り9時までに終了し、総会のため桜泉園に向いました。全員が汗ビッショリに濡らし、各自持参した飲み物、スポーツドリンク2本も全て飲みつくしたようでした。

9時過ぎから、23名が参集して、桜泉園の2階を借りて平成23年度の総会を行いました。事務局から開会宣言後、会長から、当会がさって市民環境ネットの環境活動の一環で発足し、自然界のサイクルに合わせて、落ち葉を土に還すことをコンセプトにして活動して7年を迎え、これまで、できた腐葉土を当会員が使うのみならず、小・中学校に提供し、学校の環境活動にも役立てている。そして、このボランティア活動は、野澤相談役、事務局各位の並々ならの働きと、会員の皆さんの極寒、猛暑を問わず一年を通しての積極的な参加と協力があり楽しく、素晴らしい会で運営されています。今日は、さらに各位がより楽しい活動とするために、いくつかの提案をするので、検討をねがいます、との挨拶を頂いた後、次の要領で審議されました。

☆平成22年度実績；事務局から、今回は「エコニュースさって」に詳しく報告されていることで代替することで了解して頂きました。

☆平成22年度決算書；会計から、収入の部で天候不順ジャガイモ売上が大きなマイナスでしたが、腐葉土売上、サツマイモ売上の大幅増で、結果として収入増となり、支出の部は、農具の購入で出費増がありましたが、合計では繰越金が少し増えたことが報告され、監事の監査の結果、適正に執行されたとの承認が得られました。

☆規約の改正；会長からの提案・指示で、事務局との協議の上、改正(案)が提案され全員一致で承認された。

主な改正内容は、①本会員の全員が、さって市民環境ネットの会員とする。②会計で、活動会費は徴収しないが、実績から傷害保険料200円を徴収する。また、参加者のメリット、インセンティブのために参加者に対して地域通貨制度(クーポン券1枚(100円)/1回参加)を導入し、腐葉土や収穫物の頒布に適用する。(詳細は規約を参照されたい。)③事務局次長に木村正彦氏、監事に中条喜代氏が新たに就任されるなど。

☆平成23年度事業計画(案)；既に、4月から実施されており、今年度も昨年度に略準じて行う計画で提案され承認された。

☆平成23年度予算(案)；会計から、22年度実績に準じた予算案が報告されたが、今後の地域通貨制度(クーポン券)の導入によって変更もありうる事が補足されることも含めて承認された。

☆その他；最近の会員の退会、誤字の訂正があり、連絡網の改訂を行い、改訂版を配布することになった。

以上で、10時過ぎに閉会しました。

次回は、8月21日(日)、8時開始、サツマイモのつる返し、草取りを約束し散会しました。

<追記>

7月3日(日)、奥マメ植えを予定し、畝を作ったのですが、用水に水がなく、やむを得ず、野澤さんをはじめとする有志の方にお問い合わせしました。苗の生育との絡みで結果的に皆さんの都合がつかず、野澤さんが一人で7月6日(水)に植えました。ただ、用水に水がないことから、20Lのタンク数本を自家用車で何回も往復して水やりを行いました。しかし、その後の猛暑続きで野澤さんが育てた苗を植えた畝は生きたのですが、畑で育てた苗を植えた畝はほとんど枯れてしまいました。

そこで、野澤さんと原田さんが再度、奥マメの種を蒔き、苗を育てて貰いました。

7月17日(日)、ジャガイモ収穫の前に奥マメ植えを予定しましたが、連日の猛暑続きで土がカラカラに乾燥していて、いくら水をやっても土に吸収されることと、日中の日照りでまた枯れてしまうことが予測されたことから、マメ植えは諦めました。今回は、たまたま台風がきていて19日から大雨が降るとの天気予報でしたので、日照りは避けて、18日(月)(海の日)の夕方、野澤さんをはじめ事務局全員、女性の方々の10名で、畝の作り直しと畝を追加し、用水からの水運び、水撒き、苗植え、更に水やりを全員で行い奥マメ植えを行いました。

なお、台風の後、事務局が確認したところ、全ての苗が生き生きとしており、苗の本数が1000本以上あり、秋の収穫が非常に楽しみです。(澤村)

第70回腐葉土つくりの会

奥マメの苗床づくり、第1回目のジャガイモ収穫を行いました!

7月3日(日)、梅雨の合間の薄曇りの、早朝8時に畑に22名参集しました。冒頭、会長から挨拶があり、事務局からサツマイモ畑の草取り、奥マメ苗の植付け、第1回目のジャガイモ収穫を行う旨の案内があり、野澤相談役の指導の下で作業を行いました。先ず全員でたちカマと手カマを使って草取りを行いました。続いて手分けして、野澤さんの下で数人が奥マメ植えのための畝づくり、大半の人はジャガイモ掘りを行いました。今年は、天候に恵まれ、芽欠きでいつもの茎3本を2本と減らしたため、ジャガイモも大きくなり大収穫で一袋当たり約7kg、35袋(人)分取れました。22人で分け、残りは欠席者に、また環境課、地主、新井さんにも差し上げました。今回は男爵とメイクインを収穫し、残りのキタアカリは次回(17日)に収穫することにしました。

梅雨の合間の早朝からの作業でしたが、30℃を超えて蒸し暑く、全員が汗をビッショリかき、熱中症にならないよう早めの水分を取りながら作業を行いました。

なお、地主が奥マメ植え用地を耕してくれて、今回、折角、畝をつくったのですが、ここ数日間、梅雨の中休みで、また丁度田んぼの稲の水を抜く時期に当たり用水に全く水がありませんでした。したがって、野澤さんにお問い合わせし有志で雨の合間のタイミングを見て奥マメ苗を植えて貰うことになりました。

次回、17日(日)8時から、第2回ジャガイモ収穫と総会を約束し散会しました(澤村)。

第69回腐葉土つくりの会

熟成腐葉土の頒布を行いました!

6月19日(日)、平成23年度総会、熟成腐葉土の頒布、奥マメの苗床づくりを予定しましたが、事務局(澤村)が体調不良のため不参加となり、総会は7月に延期して、熟成腐葉土の頒布と奥マメの苗床づくりを行いました。20名が参集して、残っていた2床から全員で、熟成腐葉土の袋詰め行い、頒布しました。熟成腐葉土はこれから栽培する野菜の土壌改良剤に使うことを確認し、散会しました。(澤村)

浮きウキフェスタ23!

～浮きウキフェスタも3年目、カヌー体験もできます～

9月18日(日) 10時から午後3時まで
浮島つくりは、事前に申し込んでください。

場所 権現堂第1公園



さちネットの浮島つくりは7回目になります。今回は8基作ります。

埼玉県が取り組んでいる「川の再生」、そして国連が取り上げている「生物多様性」にも一役かって、環境省も後援してくれることになりました。浮島は、水をきれいにしたり、鳥や魚のすみかになっています。こどもたちを主役に、みんなで楽しんで、浮島を作りましょう。作ったイカダ(浮島)を土手から湖に入れる進水式は、みんな感動します。イカダには、こどもだけでなく、大人も乗れます。

カヌーやドラゴンボートは当日申し込めば、体験できます。丁寧に教えてもらえるので誰でも乗れます。浮島を探検したり、進水式を湖上から見ることにも出来ます。

展示場でも盛り沢山、さいたま水族館が臨時に移動水族館を開設します。また、顕微鏡で水中の微生物を観察するブースもあります。権現堂川(行幸湖)の昔の様子や役割も勉強してください。

こどもたちが「川ガキ」になってほしいと願っています。

☆ 問合せ TEL 42-8412 本田(さって市民環境ネット)

行幸湖(権現堂調節池)メモ

利根川と中川を結ぶ水路(平地ダム) ☆長さ 5km ☆総貯水量 4,000,000t

調節水深: 夏期 2m 冬期 8m

エコライフDAY 埼玉県の温暖化防止推進運動

7月に皆さんに参加してもらったチェックシートの集計をしています。今年は原発による影響を受けて、節電の意識が高まり、この運動がひろがっているようです。引き続き、**家庭の電気ダイエットコンクール**を行っています。ぜひ参加してください。

8月の電気使用量を前年度と比べて競います。

応募期限: 9月20日(火) [事務局必着]

クールスポットの検証

埼玉県では、県下の涼しい場所を選定して、8月8、9日に温度測定をしました。

さちネットも参加して、幸宮神社の境内の日向(鳥居下)と木陰の温度を午後1時から2時まで測定して報告しました。日向は約37度、木陰は3度ほど涼しい結果でした。

目的: 治水(中川の洪水対策) 利水(県営水道の水源、日量 37,000t 取水可能・江戸川へ)

市民環境会議・さって市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ(幸手市HP)、エコライフDAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。